

コトハ余リニ難キヲ責ムルノ嫌有之候得共本官ハ羊毛讓受ケ事件交渉ノ為メ本月二十二日メルボルン市ニ於テ濠洲首相ニ会见シタル序ヲ以テ此事ニ言及シ貴官ノ倫敦ニテ井上大使トノ会談ノ際濠洲カ日英条約其者ニ加入センコトヲ望メル我邦ノ希望ヲ全然底諾シ得ルノ見込ハ遺憾ナカラ最少ト云ハサルヲ得サルモ他日帰國ノ上ハ尚ホ同僚トモ篤ト協議ノ上如何ナル程度迄譲歩シ得ラルルヤ精々尽力スヘキ旨申出テラレタル趣ナルカ其後ノ進行振り如何ヲ伺ヒタシト相尋ネタル処首相ハ「其当時井上大使ニ答弁シタル通り関税ニ関スル最惠国條款ノ単行条約ナレハ之ヲ締結シ得ヘキモ日英条約其者ニ加入ノ義ハ到底議會ノ協賛ヲ得難キ事情ハ其当時ニ於テモ井上大使ニ明言セル通りニ有之況ンヤ其後當國ニ於ケル政況ハ御承知ノ通りニテ一層ノ困難ヲ加エタレハ差当リ到底望ナキ義ト承知セラレタシ云々一言一句特ニ力ヲ込メテ相答ヘラレ候時恰モ「クリスマス」休暇ニ迫マリ居リ候事ト首相ハ當日殊ニ多忙ニテ面会人モ多数待受ケ居リ帝國政府ノ意向ハ既ニ井上大使ヨリ詳細説示セラレ居ル事ニモ有之且當國政況前記ノ通りナルニ依リ此際多弁ヲ避クルノ妥當ナルヲ認メ本件ニ就テハ後日更ニ申出

中議會再開ニ至ルノ間又ハ其会期中如何ナル政変ヲ見ルニ至ルヘキヤ相分リ兼候得共若シ政府党ト「リベラル」党トノ提携益順調ニ進行スルモノト仮定スレハ本件ニ就テモ一縷ノ曙光ヲ生スヘキ哉ト想像セラレサルニモ無之其理由ハ

第一 「リベラル」党ハ智識階級ヲ代表シ対日感情ノ如キモ労働党ニ比スレハ著シク良好ナルコト

第二 来年五六月頃ヲ期シ上院議員半数改選又ハ同年八九月頃下院議員総選挙ノ管ナルカ政府党及「リベラル」党ノ提携十分ニ成立シ協同シテ離反労働派ニ当ルコトトナラハ選挙場裡ニ勝利ヲ占メ兩院共多数ヲ制スルニ至ルヘキ望アルコト

右ノ予測幸ヒニ現実セララルコトモアラハ政府ノ基礎モ相定マリ勧誘運動ヲ試ムヘキ一機会ヲ生スヘキ哉ニ被存候尚ホ本官ハ引続キ注意機会ノ到来ヲ凝視可致候
右及報告候 敬具

本信写送付先 在英大使

附 ニュー・ジーランドノ日英通商条約ヘノ加入勧誘ノ件

ツル所アルヘシトノ一言ヲ附加シ話頭ヲ他ニ転シ申候
濠洲首相カ関税ニ関スル最惠国條款ノ単行条約以外日英条約ニ加入スルコトヲ難シスルノ真意ハ議會ノ風向ヲ憚ル為メナルヤ又ハ首相自己ノ信念ニ基クモノナルヤ其辺ハ言証無之候得共首相ノ自論ニ於テモ居住及營業等ニ関シ本邦人ニ対シ最惠国民ノ待遇ヲ与フルノ意思ナキコトハ同官ト井上大使トノ会见録中ニモ隱見致居候様被存候該会见録ニ就キ推察スルニ首相ハ濠洲カ一旦日英条約ニ加入ノ上ハ濠洲現行法中ニ存在スルモノト加入後ノ新定法トノ別ナク居住營業等ニ関シ日英条約ニ規定セル諸權利ハ完全ニ保障セラハヘク随テ現行法中之ニ抵触スル向ハ必然無効ニ歸スルコトト可相成ト解釈致居ラルル様見受ケラレ候
此点ニ関スル帝國政府ノ御意向ニ就テハ予メ本官ヨリ伺済ノ次第(客年五月廿四日貴電第廿一号)有之候得共此点ニ関シ先方ヨリ質問アルニアラサレハ当方ヨリ進ンテ云為スヘカラサル義ニ付懇ト其儘ニ看過致居候義ニ有之候尤モ先方ニ於テ条約加入ノ誠意ヲ生スルニ至ル迄ハ此辺ノ細目ニハ考ヘ及ハサル儀ト被察候
當國政界ノ前途ヲ予測スルコトハ難中ノ難事ニテ来年二月

一九一 七月二十日 在シドニー清水總領事ヨリ
石井外務大臣宛

ニュー・ジーランドノ日英通商条約ヘノ加入

勧誘ノ件

機密公第一一号

(八月十八日接受)

大正五年七月二十日

在シドニー

外務大臣男爵 石井菊次郎殿
總領事 清水 精三郎(印)

英領「ニュー・ジーランド」ハ帝國ト何等条約關係無之処既報ノ通り彼我ノ貿易ハ戦乱以來長足ノ進歩ヲ為シ来リ且ツ同地ハ從來濠洲同様有色人種排斥ノ政策ヲ採リ対日感情モ頗ル不良ナリシカ戦乱ニ関シ帝國ノ執リタル行動ハ俄然同地人ノ迷夢ヲ覺醒シ殊ニ我軍艦伊吹カ「ウエリントン」港ニ入り同地遠征軍運送船ヲ護衛シテ戦地ニ向ケ解纜スルノ光景ヲ目撃シタルヨリ其恩義ニ対スル感念ハ深ク彼等ノ腦裏ニ印象シ益其好感ヲ助長シタルモノノ如ク有之候此機會ニ乘シ同地領政府ニ対シ日英通商航海条約ニ加入センコトヲ勧誘セハ濠洲ニ比シ一層容易ニ成功スヘキヤモ難計ト被

存候尤モ同地ニハ本邦人在留者モ一二人ニ止マリ彼我貿易額モ未タ微少ノ域ヲ脱セサルハ御承知ノ通りニ有之候ニ付条約加入ノ為メ享ケ得ヘキ直接ノ利益ハ格別ノ事ニハ有之間敷候得共若シ首尾克成功ノ場合ニ於テ一面濠洲トノ交渉ハ意外永引クコトモ有之候ハハ此方面ノ交渉ヲ促カスヘキ槓杓ト可相成哉ニモ被存候

此程同地方ヲ巡航シタル帝國練習艦隊司令官松村海軍少將カ本月十三日「オークランド」ニテ認メタル來信中先ツ同地方ニ於ケル熱誠盛大ノ歡迎狀況ヲ叙シ次ニ「鄙見ニ依レハ例ノ通商条約ノ一件ハ寧ロ「ニュージーランド」ノ方カ先ギニ纏メ易キ哉ニ感セラレ候」ノ一節有之右ハ同官力受ケタル歡迎ノ狀況ヨリ直覺シタル感想ニ過キサルヤニモ被察候得共十分參考ノ価値アル義ト存候

本官「ニュージーランド」出張ノ義ハ別信及稟請置候ニ付御許可ノ場合ニ於テハ同地政府ノ当局ニ会见ヲ要スル義有之候ニ就テハ御都合ニ依リテハ本件ニ関シ非公式ニ当局ノ意向ヲ探知シ可得様被存候間御詮議ノ上何分ノ義御訓令相仰度此段及具申候 敬具

伴英國出張十月八日倫敦着ノ由ナレハ此機會ニ乗シ在英大使ヲシテ右一行ニ会谈セシメハ一層好都合ナルヤニ思ハル右御詮議ヲ請フ

一九四 十月十日 寺内兼任外務大臣ヨリ
在シドニー清水總領事宛(電報)

一九二 八月三十日 石井外務大臣ヨリ
在シドニー清水總領事宛

ニユー・ジールランド日英通商条約ヘノ加入勸誘ノ件

通機密送第一〇号

本件ニ関シ客月二十日附機密公第一一号ヲ以テ御稟申ノ趣了承帝國政府ニ於テモ此際同地ヲ日英条約ニ加入セシムル様勸誘方可然ト認メ候ニ付テハ今回同地ヘ御出張ノ好機ニ於テ当局ト御会谈ノ節ハ是迄濠洲連邦ノ日英条約加入ヲ勸誘セルト大体同一ノ方針ノ下ニ「ニュージーランド」ノ加入方ニ付先方ノ意向探查方御稟申ノ通り御取計相成差支無シ此段回訓申進候也

一九三 十月九日 在シドニー清水總領事ヨリ
石井外務大臣宛(電報)

ニユー・ジールランド首相倫敦出張ニ付在英大使ニ於テ会谈方稟請ノ件

第四三号

機密第十号貴信ニ関シニュージーランド首相ハ大蔵大臣同

ニユー・ジールランド首相帰任迄出張見合方ノ件

第二二号

人送第三五号ニ関シニュージーランド首相ノ帰任迄同地出張見合ハサルヘシ